

特集 東京都 自動車販売

受注確保 工夫凝らす販売現場



厳しい市場環境続く中で

消費マインド 低下の懸念

各社、受注の動きが鈍くなっている。都内の乗用車の販売幹部は「受注環境は厳しい。値上げなども影響している」と話す。物価高も影響し、消費マインドの低下が一因とみられる。

一方、サービスや中古

周辺部門で 収益支えながら

コンプラ対応 待ったなし

店舗の全面改装も相次いでいる。エリアの店舗網の再編と合わせて行われ、効率化を図っている。統合後の店舗は大型店舗とされており、電動化や自

車では、計画を達成し、収益を支えている。中古車は、相場が高値で安定していることもあって、都内は土地の確保が難しい。ある販売店の幹部は「老朽化し、お客さまに不便をかけてしまっている面もある。何とか対応したいが、場所がない」と話す。加えて地価や建築の伴う資材費の上昇もあり、販社の負担は増すばかりだ。

コンプライアンスへの対応も急いでいる。保険業法改正も控え、自動車保険の取り扱い体制を改めて見直している。保険業法だけでなく、コンプライアンスに関しては、日本自動車販売協会連合会(東都支部)や加藤和夫支部長も会員向けに情報発信していく。講師を招いて講習会を開く予定だ。

今後も、物価高が続き販売会社の経営環境としては厳しい状況が続いていく。コンプライアンスへの対応も進めていく必要がある。業界の健全な発展に向けて各社力を入れている。

車種	第1四半期 (2025年1~3月)		第2四半期 (2025年4~6月)		第3四半期 (2025年7~9月)		第4四半期 (2025年10~12月)		合計 (2025年1~12月)	
	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比	台数	前年比
普通乗用車	40,554	8.3	35,005	▲1.2	38,449	▲0.1	37,839	▲6.2	151,847	0.4
小型乗用車	11,098	19.6	10,735	4.2	12,888	▲1.7	11,919	4.3	46,640	6.2
普通貨物車	1,583	14.7	1,400	▲12.8	1,607	▲9.9	1,598	2.8	6,188	▲1.0
小型貨物車	1,816	▲4.4	1,221	7.6	1,448	17.0	1,642	38.6	6,127	14.1
バス	286	9.8	177	▲10.2	280	▲12.9	175	26.9	918	2.3
登録その他	314	0.8	159	▲16.2	244	17.2	222	3.6	939	1.0
登録合計	1,185	9.7	1,086	▲0.2	980	0.6	1,211	▲0.9	4,462	2.4
軽乗用車	1,195	14.9	910	21.1	1,149	▲0.7	1,254	9.2	4,508	10.6
四輪貨物車	58,231	18.3	51,402	16.2	57,881	8.6	55,775	▲1.1	223,289	10.2
バン	63,882	21.6	51,288	12.1	58,233	9.2	55,265	▲0.6	228,668	10.3
トラック	9,352	4.2	7,910	37.4	9,605	5.9	10,317	▲3.8	36,381	9.6
軽合計	3,734	15.9	3,458	19.6	3,986	2.0	3,993	6.2	15,171	10.5
総合計	4,418	10.8	4,017	3.4	4,328	0.9	3,948	0.5	16,711	3.9
	3,024		2,896		3,243		3,307		12,470	
	3,678		3,245		3,541		3,288		13,752	
	710		562		743		686		2,701	
	740		772		787		660		2,959	
	13,086		11,368		13,661		13,437		51,552	
	15,167		13,597		13,933		14,265		56,962	
	71,317		62,770		71,542		69,212		274,841	
	79,049		64,885		72,166		69,530		285,630	

単位:台、前年比増減率%、▲はマイナス、上段は前年実績

店舗網再編も急ピッチ

25年(1~12月)は、一昨年の一部メーカーの出荷停止影響による反動で増加した。ただ、コロナ禍前の水準には回復しなかった。

車では、計画を達成し、収益を支えている。中古車は、相場が高値で安定していることもあって、都内は土地の確保が難しい。ある販売店の幹部は「老朽化し、お客さまに不便をかけてしまっている面もある。何とか対応したいが、場所がない」と話す。加えて地価や建築の伴う資材費の上昇もあり、販社の負担は増すばかりだ。

コンプライアンスへの対応も急いでいる。保険業法改正も控え、自動車保険の取り扱い体制を改めて見直している。保険業法だけでなく、コンプライアンスに関しては、日本自動車販売協会連合会(東都支部)や加藤和夫支部長も会員向けに情報発信していく。講師を招いて講習会を開く予定だ。

今後も、物価高が続き販売会社の経営環境としては厳しい状況が続いていく。コンプライアンスへの対応も進めていく必要がある。業界の健全な発展に向けて各社力を入れている。



Toyota Mobility Tokyo

トヨタモビリティ東京のサステナビリティ

私たちがトヨタモビリティ東京は、「安心・安全でサステナブルな社会の実現」に向け、SDGsへの取り組みを通じて社会的責任を果たしながら、これからもお客様や地域の皆さまに選んでいただける企業になれるよう、全社でサステナビリティ活動を展開してまいります。

人と、クルマと、住みよい街に。 <当社SDGs推進口>

環境への取り組み

環境負荷を低減し、持続可能な社会の実現をめざします。



- 充電スタンドの店舗配置
- 店舗敷地内の緑化
- 本社・店舗周辺の美化活動
- 注文書等の電子化推進

社会への取り組み

地域の皆さまとのコミュニケーションが重要と考え、「地域から必要とされる会社でありたい」そんな思いを込めて活動しています。



- 地域活性化包括協定(江戸川区・中野区・世田谷区・板橋区・三鷹市・狛江市・大東文化大学)
- 地域スポーツ貢献(アルパルク東京・町田ゼルビアを応援)
- 災害時帰宅困難者支援協定
- 災害時協力協定
- 災害時給電車両貸与協定
- 体験会各種開催(サポカー/燃料電池教室/交通安全教室) ※2025年7月現在

ガバナンス

「すべてのステークホルダーから信頼される企業」「社員が“安心・安全”に働ける職場」を目指し、健全で透明性の高い事業活動を実践してまいります。



- コンプライアンス(社員行動指針/社員研修/内部監査)
- リスクマネジメント(災害対策の取り組み/環境リスク管理)

トヨタモビリティ東京株式会社

お客様相談テレフォン 受付時間 9:00~17:00(火曜定休日)

0120-127-126

トヨタモビリティ東京のホームページはこちら



東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県に190店舗ネットワーク

人と未来を共に走るモビリティ

私たちは、お客様の暮らしに寄り添い、新しい可能性を広げる存在でありたい。
 モビリティを通じて生まれる心躍る瞬間や特別な体験を創り出し、
 毎日をもっと豊かで、もっと挑戦に満ちたものへ。
 これからの暮らしに、新たな価値と喜びをお届けします。



株式会社ホンダモビリティ南関東

Honda Cars 東京中央/横浜/埼玉/千葉

電気で走るN-ONE

より充実した、EVライフのサポートを。

戸建住宅はもちろん集合住宅への充電設備やV2H機器の設置から、外出時の充電やの電気料金プランのご案内まで、お客さまに適した環境の整備をお手伝いしています。EVライフ全体のサポートを通じて、その普及に貢献していきます。

東京運輸支局



織田 陽一 支局長

2025年は、労働規制の強化や日本版ライドシェアの実装が進み、業界のレジリエンス(強靭性)が試された一年であった。東京運輸支局では、深刻な人手不足に対応し、退職予定の自衛官を

対象に、ドライバーおよび整備士への入職支援を行った。自衛隊駐屯地での説明会以外にも、高校訪問を行うなど即戦力となる人材確保に注力した。また、昨年10月から輸入車もOBD検査を

OSSの利用を加速へ

開始し、電子制御装置整備の習熟も着実に進んだ年となった。

整備業界は今、電動化や自動運転技術の進展、そして人手不足に直面している。整備士の処遇改善や魅力発信を団体や事業者と共に支援する。一方、業界の信頼を揺るがす不正行為も発生している。特に、現車を確認せずに書類のみで適合させる「ペーパー車検」などの不正に対しては、監査・指導を強化し、厳正に対処する方針だ。

そのほか、地域の「交通空白」への取り組みでは、青梅市でのマイナンバーカードを活用したタ

整備業界は今、電動化や自動運転技術の進展、そして人手不足に直面している。整備士の処遇改善や魅力発信を団体や事業者と共に支援する。一方、業界の信頼を揺るがす不正行為も発生している。特に、現車を確認せずに書類のみで適合させる「ペーパー車検」などの不正に対しては、監査・指導を強化し、厳正に対処する方針だ。

そのほか、地域の「交通空白」への取り組みでは、青梅市でのマイナンバーカードを活用したタ

東京都軽自動車協会



赤間 俊一 会長

2025年の都内の軽自動車販売数は、前年比111%だった。全国では同107%の中で、平均を上回る結果を残せた。とはいえ、コロナ禍前の水準には戻っており

知恵を出し合って苦境克服

環境性能割増止などの方向性も決まった。消費者の間では、「今は買わない方がいいのではないか」といった雰囲気も広がっており、環境としてはあまり良くない。

電気自動車(EV)については、各メーカーがラインアップを増やしつつある。ユーザーの選択肢が増え、買いやすい価格が増えることには良いことだと思

ず、厳しい状況が続いている。物価高や車両価格の上昇などが影響し、元の受注状況については芳しくない話も聞く。26年度も厳しい一年になるだろうと予想する。

販売会社の経営環境としては、土地代や賃金水準が上がる中で厳しい環境にある。生成AI(人工知能)やデジタルツールの活用を進めながら、各社効率化に向けて努力している。協会の中では委員会を定期開催しており、会員同士知恵を出し合いながら、苦境を乗り越えていきたい。

日本自動車販売協会連合会東京都支部 / 東京自動車販売協会



加藤 和夫 支部長・会長

2025年は価格高騰や供給制約の中、需要は底堅くあった。受注は業界全体的に厳しい環境にある。世界的な株価高はあるが、国内の新車販売

さらにZEV普及を後押し

26年度の主な取り組みとして「インド市場の視察」や「電動車を活用した大井競馬場のユーザー向けイルミネーションイベント」「日本自動車連盟東京支部との共創プロジェクト」などがある。インドは、現在、国内メーカー各社が力を入れている市場の一つで、現地の最新動向を学んできたと思

知能)の活用などを強化する動きが活発となっている。自動車販売業界はこれまで遅れ気味だったが、各社が力を入れるようになってきた。

26年度の主な取り組みとして「インド市場の視察」や「電動車を活用した大井競馬場のユーザー向けイルミネーションイベント」「日本自動車連盟東京支部との共創プロジェクト」などがある。インドは、現在、国内メーカー各社が力を入れている市場の一つで、現地の最新動向を学んできたと思

東京都 自動車関連団体トップの言葉

NISSAN

CROSSOVER EV

NEW LEAF



日産東京販売ホールディングス株式会社

東京都品川区西五反田 4-32-1

<https://www.nissan-tokyo-hd.co.jp>



30th ANNIVERSARY
STEP WGN

STEPWGN

STEP WGN e:HEV AIR EX / e:HEV SPADA
30周年特別仕様車

30周年特別仕様車
スペシャルムービーは
こちらから



すべての思い出に、感謝をこめて。



30周年専用
STEP WGNエンブレム/ブランドタグ
初代のロゴを、モダンに再現。



Honda Cars 東京西

公式HPは
こちらから



東京都中古自動車販売協会・同商工組合



黒田 泰男会長・理事長
2025年は新車供給が正常化し、中古車の流通量が増えたことで、市場は高値から調整局面へと移った。高級ミニバン

や3〜5年落ちの車両の価格は見直しが進み、消費者の価格志向は一段と強まっている。輸出は円安を追い風に堅調なが

「ひと・もの・カネ」最適運用

ら、海運コストや為替変動など不安定要素も残り、業界として注視すべき状況が続く。
こうした環境下、JU東京では業務の効率化を軸に、「ひと・もの・カネ」の最適運用を進め、各事業の安定運営に取り組みできた。合わせて、「くるま買取サービス」「一車庫証明取得代行サービス」「カスハラ対策セミナーとマニュアル提供」など、会員支援策も展開した。小売市場の信頼回復に向けては「支払総額表示」の徹底を図るべく、自動車公正取引

東京自動車リース協会 (TALA)



高井 直哉会長
2025年の自動車リース市場は、新車供給の制約や車両価格の高騰、金利上昇といった厳しい外部環境に直面した。新

車リースは微減傾向にあるものの、これは需要の減退ではなく、供給側の制約が主因である。特筆すべきは、ユーザーの

しっかり地域特性とらえて

「所有から利用へ」という意識の変化が進んだ点だ。車両価格の上昇を受け、一括購入ではなく月々定額で管理コストを平準化できるリースの優位性が再評価されている。また、新車供給のタイト化を背景に、法人・個人ともに「中古車リース」や「再リース」を戦略的に活用する動きが定着した一年であった。
リース車両保有台数(25年9月末・日本自動車リース協会連合会へJALIA)会員企業の集計は、約452・5万台に達した。前年同期比

東京都自動車整備振興会・同商工組合



舟橋 竹彦会長・理事長
自動車技術の高度化と整備人材不足への対応に苦慮するが業界を鑑み、国土交通省では2025年7月に数々の法令改正を行った。整備士資

格取得に要する実務経験期間の短縮や省力化機器などの導入を前提とした指定工場における最低工員数の緩和など、業界が抱える課題に対し積極的

各種法令改正の周知徹底へ

また、東京に限ったことではないが、OBD検査においては検査不適合の内訳の多くが「LEDディスプレイ」や「通信不成立」など検査準備の不備であるほか、そもそも検査の実施漏れがあるなど、制度への理解や体制構築が万全とはいえない状況にある。引き続き周知徹底に努めている。
昨年7月に施行された改正技能検定期則では、整備士資格取得に要する実務経験期間が短縮された。来年1月に施行予定の新たな整備士資格制度とともに改正内容の周知を図り、技術講習所の適正運営に努め、円滑な資格取得を支援していく。
そのほか、28年1月からの運用開始が予定されている自動車登録検査手続きのデジタル化について調査・検討を進めていくとともに会員事業者の対応促進に寄与していく。

東京都 自動車関連団体トップの言葉

確かな品質と豊富な品揃えで、東京都及び山梨県全域に信頼をお届けします

緊急対策グッズ

新しい時代の自動車用緊急保安灯 緊急時にこれ一本!! 三角表示板に代わる新しい基準!!



ライト付 LED非常信号灯



自動車用脱出ハンマー 消棒RESCUE



パープルセーバー



雪も走れる夏タイヤ



CROSSCLIMATE 3 SPORT CROSSCLIMATE 3



進化を遂げた、新オールシーズンタイヤ



VECTOR 4 SEASONS (EVO) VECTOR 4 SEASONS (EVO) SUV



あらゆる天気・路面にシンクロする



SYNCHRO WEATHER

トヨタ モビリティパーツ株式会社

東京支社 〒106-8652 東京都港区東麻布1-10-10 TEL.03-3585-2131 (大代表)
山梨支社 甲府営業所 〒400-0113 山梨県甲斐市富竹新田1902-1 TEL.055-279-1201 (代表)



LBX
MORIZO RR



レクサス小石川

03-3813-3331

営業時間：9:30~18:00
定休日：毎週火曜日
住所：文京区小日向4-1-1



N-BOX

2025年
国内販売台数
No.1

※2025年1月～2025年12月の登録車を含む国内新車販売台数第1位(全軽自動車・自販速調べ)



N BOX CUSTOM BLACK STYLE



Honda Cars 東京

■葛飾店 TEL: 03-3695-7101	■水元店 TEL: 03-3608-5005
■東陽町店 TEL: 03-3647-1725	■江戸川店 TEL: 03-3654-1145
■葛西橋通り店 TEL: 03-3877-3281	■錦糸町店 TEL: 03-3634-2461
■押上店 TEL: 03-5610-4151	■葛西店 TEL: 03-5667-0523
■一之江店 TEL: 03-5662-3631	■奥戸店 TEL: 03-3692-7111
■飯田橋店 TEL: 03-5840-6600	■U-Select葛飾 TEL: 03-3693-6981
■小岩店 TEL: 03-5622-2200	

<https://www.hondacars-tokyo.co.jp/>

都内新車ディーラー首脳が語る課題と抱負

トヨタモビリティ東京

佐藤 康彦社長

まず初めに、高市政権による自動車税制改革に深く感謝申し上げたい。環境性能割や暫定税率の廃止は、業界にとって重要な変化点であり、今後の市場活性化に向けた重要な一歩となる。

新車市場は依然としてコロナ禍前の水準への回復には至っていないもの



EV販売「試乗」が重要な鍵

販売は、「試乗」が重要な鍵となる。今回改良した「bZ4X」では乗っていただくことが購入の後押しとなっている。当初は都心部での販売を見込んでいたが、実際には多摩地区の方で販売が伸びている。比較的多摩地区の方が充電器を設置しやすい戸建てのお客さまが多いこともあり、受け入れが進んでいるものと考えている。

中古車のオンライン販売「U-LIVE」については、月間100台程度を販売しており、今後強化していきたい。

また、保険業法改正をはじめ、法令順守が強く求められる。デジタルツールの活用を推進し、法令順守と現場の業務負担軽減について両立を図っていく。

日産東京

菊地 文夫社長

2025年度上期(4～9月)は厳しい状況が続いたが、10月以降は新型「ルークス」の投入によって受注が盛り返し、11月以降には登録も進んだ。年明けの初売りでは多くの受注を獲得し、勢いが戻ってきたと実感している。来年度は「エルグランド」の投入も予定



エルグランドなどで反転攻勢

国内の他メーカーもEVを本格投入し始めており、先行する日産陣営にとっては追い風となっている。他社の参入によって、新車の個人リース販売は、新車販売の回復と歩調を合わせる形で、秋口から「セレナ」やルークスを中心に勢いが戻りつつある。2年前から始めた中

ホンダ東京西

加藤 和夫社長

年間販売3千台の目標に向けて、法人販売を強化する。2月には、法人部を設置し、部門長やスタッフを配置して活動を始めた。多摩地区の法人の役員車や営業車などの提案をテコ入れする。この中には、行政や電気やガスの公共インフラ企業、金融機関をはじめ



体制テコ入れ 法人販売強化

10月をめぐり瑞穂町に新店舗を立ち上げる予定で、ユースレフト立川を含めれば9拠点となる。あとは、管理内台数に対してサービスピット数がなごりになっている。引き上げていく。簡易的なコーティングも内製で、商品化能力を高める予定で、法人営業に力を入れる。これまでの営業は、自動車販売に専念させ、メリハリをつけていく。

トヨタS&D西東京

田村 勝彦社長

受注状況はあまり良くない。特に年明けから重い感じがする。引き続き、受注停止の車種もあり、不安定な状況が続いている。こうした中で、2026年度は、「新車」をいかに提案できるかが大切だ。お客さまのニーズを的確に捉え、機



的確にニーズ捉え販売機会逃さず

会を逃さないようにコンタクトしていく。基本的なことを効率的に取り組んでいきたい。

3、4年前から「A Customer活動」に注力している。A Customerのニーズに対して人工知能(AI)が解決することは現状ではできない。カスタマーズやマーケットに対しては、AIでは分からない感覚のところから、こういったことを大切にしたい。

店舗展開については、八王子地区で新たな中古車拠点を立ち上げたい。従来のような中古車センターとは異なるブランドイメージを仕掛けていくと検討している。

多摩地域の活性化のため、沿線まるごとホテルプロジェクトに出資した。青梅線の沿線全体をホテルと見立てた事業で、一例ではあるが地域の活性化に期待している。



トヨタS&D西東京株式会社

ホームページはこちら <https://www.toyota-sd-nishitokyo.co.jp/>





すべては、その笑顔と喜びのために
Smile&Delight

NEXT ONE
より良い生活・便利さ・安心・安全を。

kidsNA SENSYA
きずな洗車
被災地の子どもたちへ豊かな未来を。

S&D多摩グループは「モビリティ」を通じて笑顔を広げます。



常に新しいことへのチャレンジを通じて、
安心・安全・感動をお客様に提供する。

業界の既存概念にとらわれない、
多様なメーカーの新車・中古車を取り扱う「トータルディーラー」として、
全国に約70拠点を展開しております。
お客さまに最適なクルマを提案し、
ご購入後もメンテナンスや保険、買い替えといった
長いカーライフをサポートし続けます。



www.ku-hd.com



都内新車ディーラー首脳が語る課題と抱負

ホンダカーズ東京

石田 博社長

新車販売は、受注、登録ともに前年を若干下回る状況が続いている。自社のエリア内は8割が登録車で占める状況で、売れ筋の「フリード」や「ステップワゴン」を確保したいものの、配車に制約があるため伸び悩んでいる。
電気自動車（EV）

は、インフラ面で課題も多い。集合住宅が多いエリアであるため、各家庭での充電器の確保が難しい。ただ、ホンダは2026年度もEVを投入する計画で、都心ならではの課題があるものの登録車のEVを中心に拡販していきたい。
一方、サービス事業

登録車のEVを中心に拡販

店舗投資については、葛飾店の改装を予定しており、CS（顧客満足）とES（従業員満足）のそれぞれを高めていく。社員が働きやすい環境をつくるためにも投資してきた。特にサービス工場は、昨年までに冷暖房設備、シートシャッターの設置が完了し、今後も投資を続けていく。今年の保険業法の改正に関しても、現場の実情に合わせて適切に対応していく。

ホンダモビリティ南関東

高橋 宗一郎社長

4社（東京中央、横浜、埼玉、千葉）統合から4月で3年目を迎える。それぞれで企業文化が異なり、2年ばかり合わせてきた。風通しの良い健全な企業文化の醸成を目指し、経営陣とともにホンダモビリティ南関東の今後あるべき姿を考えている。困っている

人がいたらお互いに助け合って仕事を進めていけるような企業風土を実現していきたい。加えて、法令順守が徹底できる社内体制づくりにも注力していく。
2026年度に重要な施策の一つが電気自動車（EV）の本格展開に向

風通し良い健全な企業文化醸成

度以降にも投入が予定されている。EVをしっかりと販売できるような現場をサポートしていく。メーカーと連携して生成AI（人工知能）の活用を進めている。本社部門ですべて使用してVを販売しており、26年おり、営業部門でもトラ

レクサス小石川

武藤 正己社長

今年度、レクサス国内開業20周年イヤーにあたり、当社では「これまでの20年に感謝し、これからの未来に絆をつなぐ！」をテーマに掲げ、「すべてのオーナーさまに直接お話し、感謝をお伝えする」ことにチャレンジすべく、さまざまな取り組みを行い、多くのオーナー向けイベントを開催してきた。また、これまで当社を

支えてくださった歴代役員・社員OB・OG、そして現役社員に対して、敬意と感謝をお伝えする場を設けた。これらのイベントで掲げた20年を振り返る年表パネルの作成にあたり、各年度の役員・社員の陣容、受注・販売台数、開催したイベント、当時の世情などを改めて振り返ると、当然ながら数々の試練があり、その都度、弛まぬ

レクサス20周年 次なる挑戦へ

強くした次第である。レクサス小石川は、「しっかりと変化に対応できる組織」を目標（ひょうぼう）としている。昨今、各種規定の改定が目まぐるしく起る中、社内では「ルールを守る者がルールに守られる」を合言葉に、緊張感を持って、重ねて、すべてのステークホルダーの皆さまへの感謝の念を、より一層個人のクオリティを

シユテルン世田谷

板東 徹行社長

2025年販売は、モデルサイクルの端境期だったことや新モデルの投入の遅れなどもあり、全体的には新車販売にとって厳しい一年となった。26年の前半はスローペースで推移するだろう。ただ、短期的ではあるかもしれないが、年明けは受注面で例年よりも良い

感触もある。日経平均も高値で推移しており、高値になればなるほど世の中の景気が左右されるどころが大きい。6月以降の後半には、「スクラス」の大幅改良と「CLA」の全面改良があり、回復に期待している。スクラスは、ポリウ

6月以降の新型車で回復期待

ムゾーンではないものの、コアなお客さまが一定数おり、代替も見込める。一方、電気自動車（EV）は正直なところ低調な状況だ。CLAは、新しいアーキテクチャーのシャシーで、ポリウムゾーンとしてかなり期待している。新規のお客さまにも十分訴求できる新



る。CLAは、新しいアーキテクチャーのシャシーで、ポリウムゾーンとしてかなり期待している。新規のお客さまにも十分訴求できる新



強くなった。レクサス小石川は、「しっかりと変化に対応できる組織」を目標（ひょうぼう）としている。昨今、各種規定の改定が目まぐるしく起る中、社内では「ルールを守る者がルールに守られる」を合言葉に、緊張感を持って、重ねて、すべてのステークホルダーの皆さまへの感謝の念を、より一層個人のクオリティを



度以降にも投入が予定されている。EVをしっかりと販売できるような現場をサポートしていく。メーカーと連携して生成AI（人工知能）の活用を進めている。本社部門ですべて使用してVを販売しており、26年おり、営業部門でもトラ



でも前年超えは確実だ。中古車は、過去最高だった24年度と比較すると落ち着いてきたが、水準としては依然高い状態が続いている。小売りは、点検や車検入庫などが収益を支えており、新車販売の落ち込みをカバーし、安定した販売が続いている。25年度通期

確かな技が、走りを支える。

南関東日野自動車のメカニックが、
ダカール・ラリーに2年連続で参戦。

日野チームスガワラの35回連続完走を支えました

いまがわ ひろき 新狭山支店
今川 博貴 整備部 整備課

「大変だったからこそ達成感も大きい。」

画像提供：日野自動車(株)

東京都の人口(推計)と世帯数

Table with 4 columns: 地域 (Area), 人口 (Population), 前年比 (YoY Change), 世帯数(参考値) (Household Count (Reference Value)), 前年比 (YoY Change). Rows include 総数 (Total), 区部 (City/Town/Village), 千代田区 (Chiyoda), 中央区 (Chuo), 港区 (Minami), 新宿区 (Shinjuku), 文京区 (Bunkyo), 台東区 (Taitoh), 墨田区 (Suidoh), 江東区 (Kanto), 品川区 (Shinagawa), 目黒区 (Meguro), 大田区 (Ohta), 世田谷区 (Setagaya), 渋谷区 (Shibuya), 中野区 (Nakano), 杉並区 (Suginami), 豊島区 (Hoshima), 北区 (Kita), 荒川区 (Arakawa), 板橋区 (Itabashi), 練馬区 (Nerima), 足立区 (Adachi), 葛飾区 (Koshiji), 江戸川区 (Edogawa), 市部 (City), 八王子市 (Yamanashi), 立川市 (Tachikawa), 武蔵野市 (Musashino), 三鷹市 (Mitoh), 青梅市 (Aoyama), 府中市 (Fuchu), 昭島市 (Shimazuma), 調布市 (Tama), 町田市 (Machida), 小金井市 (Kojimachi), 小平市 (Kosugi), 日野市 (Hinoh), 東村山市 (Higashimurayama), 国分寺市 (Kofuji), 国立市 (Kunitachi), 福生市 (Fusho), 狛江市 (Kojima), 東大和市 (Higashi-Machida), 清瀬市 (Suisai), 東久留米市 (Higashi-Kojima), 武蔵村山市 (Mushinomachi), 多摩市 (Tama), 稲城市 (Inagi), 羽村市 (Hornoh), あきる野市 (Akirino), 西東京市 (Sei-tohkyo), 郡部 (Town/Village), 瑞穂町 (Suibouchi), 日の出町 (Hinodetsu), 檜原村 (Hinohara), 奥多摩町 (Okutama), 島部 (Island), 大島支庁 (Oshima), 大島町 (Oshima), 利島村 (Rishima), 新島村 (Shinima), 神津島村 (Katsushima), 三宅支庁 (Miyake).

2025年の新車市場を振り返ると、24年の落ち込みから確実に回復した。1年だった。お客さまをはじめ皆さまの支えがあったからこそできたことで、感謝申し上げます。

2025年の国内軽自動車の販売台数は167万台だった。保有台数は3200万台あり、毎年安定的に拡大している。この成長構造を考えると、本来必要年間販売は、180万台レベルだと考えている。

ただ、金利上昇や物価高騰などにより、お客さまが購入を我慢されている状況が続いている。従って、今年は、この溜まった需要が一気に動き出すスタートの年になってほしいと期待している。

また、サービス、中古車、部品供給、金融商品を提供し、さらに上昇していきたくて、東京をエリアに分けて捉え、特性に合わせて進化させていく。これと連動して社員が本場に働きたいと思える会社に成長させていきたい。

「小さいからこそできること」についてスピードを上げて取り組んでいく。現場からも意見を募って、会社として中長期のビジョンを来年度には出していきたいと考えている。

ダイハツ東京

武田 裕介 会長兼社長



期待に応える適切な良い商品を提供し、さらに上昇していきたくて、東京をエリアに分けて捉え、特性に合わせて進化させていく。これと連動して社員が本場に働きたいと思える会社に成長させていきたい。

いすゞ自動車首都圏

中村 治社長



装では依然として遅延が発生している。ダンブカーをはじめ特装車は長納期が続いており、中古車の活用などに対応している。顧客からは「利便性が向上した」といった評価が寄せられている。今後は整備需要の高い八王子エリアでの能力増強に取り組む。

サービス受け入れ体制の整備加速

南関東日野

河崎 俊哉社長



この下期は、当たり前の水準を維持・向上させることが、仕事の成果とつながる。当たり前の水準を維持・向上させることが、仕事の成果とつながる。当たり前の水準を維持・向上させることが、仕事の成果とつながる。

トヨタモビリティパーツ

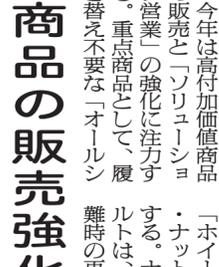
東京・山梨統括支社



「気づき」を大切に より良い会社へ。今年、高付加価値商品の販売と「ソリューション」の強化に注力する。ナンバロックポルトは、購入すると、盗難時の再発行費用や修理代を補償する保険がユーザに負担なしで自動付帯される仕組みとなっており、保険会社と協力し、取り組みを始めた。

2025年のトヨタ車の新車販売は前年比約10.4%と堅調だったが、部品の販売は伸び悩んだ。部品は、タイヤやバッテリーなどの重点商品が、補修部品が落ち込んだ。

高付加価値商品の販売強化急ぐ。高付加価値商品の販売強化急ぐ。高付加価値商品の販売強化急ぐ。



今年、高付加価値商品の販売と「ソリューション」の強化に注力する。ナンバロックポルトは、購入すると、盗難時の再発行費用や修理代を補償する保険がユーザに負担なしで自動付帯される仕組みとなっており、保険会社と協力し、取り組みを始めた。

ISUZU Five Star GIGA advertisement featuring a large truck image and text describing its features like economic efficiency, safety, and reliability. Includes QR code and contact information for Isuzu Giga.

いすゞ自動車首都圏株式会社 (Isuzu Capital) branch list and contact information. Includes address, phone numbers, and a list of regional branches across Japan.